千草会会報 第53号　平成26年8月発行

千草会

題字　原あやめ

26 年号

■目次

● 学院長挨拶 …… 1頁
● 在校生より …… 2頁
● 卒業生だより …… 3頁
● 学院ニュース …… 4・5頁
● 研修旅行／会計報告／就職他 … 6頁
● 学校案内 …… 7頁
● お知らせ／千草会役員 …… 8頁

学院長挨拶

学院長　**鈴木　貞雄**

日頃の教育活動発展にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。創立85周年を迎える学院は、歴史の中で培った信頼と実績により社会に貢献する専門家の育成に励んでおります。

平成25年度は修業年限3年制導入後、最初の卒業生が実社会へと進んでいきました。この間、専門能力の向上に1年間1，050時間を学び、就職講座では社会人としての基礎知識を身に付け、人間力を向上させました。その結果、卒業生の就職率は、例年にない高成績を上げることが出来ました。学校評価アンケート（平成26年2月20日実施）の項目に山脇を選んだ理由として3年制はどうでしたかの問いに満足の回答が大多数でした。そして、カリキュラムの充実や学習環境が整い、他の専門学校にない魅力を感じて往きました。特に昨年度は各種コンペの受賞者「特別賞」が多い年度でした。卒業式の鼻向けの言葉は「人の鈍根というは、志の到らざるときのことなり」と伝え、成し遂げようとする真剣な志を持つ大切さと命を大切に生きることを伝えました。

充実した学院生活のために臨床心理士（カウンセラー）も勤務し人間味ある楽しい専門学校です。

会員各位のご健康と千草会のご発展をお祈り申し上げます。

山脇美術専門学院
（山脇ビル正面・地上12階、地下２階）

在校生より

ビジュアルデザイン科

《1年》山本　節子

Visual design

入学してから早くも2ヶ月が経ち、少しずつですが、学院生活に慣れてきたように感じます。

専門的な内容を深く学ぶことは、ものに対する考え方や見方が変わるのでとても楽しいです。

けれど、楽しいだけではありません。それぞれの授業から課題が出ます。一つ一つのクオリティをできるだけあげられる様に、複数の課題をこなしていくことは難しいです。それだけに、課題が完成した時の達成感は大きく、「次はもっと頑張ろう」という意欲が湧きます。

締め切りに追われる日々ですが、嫌だと思うことはありません。幅広い授業の中で、自分の力が伸びていることが分かるからです。また、クラスメイトや先輩、講師の先生など、優しい方々に囲まれているのが心の支えになっています。

今までは具象的な絵ばかり描いてきましたが、今取り組んでいる授業では抽象的なものにも挑戦しています。皆から刺激を受けながら、自分の引き出しを広げていくのがこれからの目標です。

イラストレーション「私について」

スペースデザイン科

《2年》嶋田　里菜

Space design

〝自分は将来何がしたいのか〟と考えた際に曖昧にしか考えられなかった事が、学院で1年を過ごした今、明確になったと感じます。

まだ何も分からなかった以前と比べ日々の授業や生活の中で、自分の得意・不得意が分かるようになってきました。

得意を伸ばして不得意を克服していこうと、きちんと自分と向き合えるようになった事は自分の中でとても重要な経験だと思います。

デザインを考える際に日常からヒントをもらいそれが生かされる時はとても嬉しく、小さな事にも目を配ろうと意識が変わっていきます。さらに悩んだ際には話を聞いて下さる方々や、様々な作品が制作できる環境があり、とても充実した生活が送れていると実感します。

今の意識や考えを今後も継続し自身の視野を広げ、将来に役立てていきたいと思います。

私の家「本と暮らす家」

ジュエリーデザイン科

《3年》佐藤　涼磨

Jewelry design

私は学生生活を送る中で、素敵な先輩たち、美しい作品の数々、尊敬できる先生方、多くの出会いを経験しました。

様々な出会いを重ね、将来はジュエリーと共に生きていきたいと覚悟を決めた二年次の夏、私はある一目惚れをしました。

プリミティブでオリジナリティに溢れ、心を掴んで離さないそのブランドのジュエリーとの出合いは、とても衝撃的でした。

ご縁があり、6月には内定を頂くことになりました。入社までの期間はそこで職人さんに学びながらアルバイトをさせて頂いています。

学校とは全く違う環境下での制作にいつも力不足を感じ、それと同時に、将来自分が足を踏み入れる世界での自分の可能性や期待が高まっています。

今まで山脇で学んできた課題や日々の姿勢は、就職活動をする自分の助けとなりました。

残りの学院生活も有意義に、プロのレベルを意識し続けて、将来は知人友人から自慢されるような、人に胸を張れる職人を目指したいと思います。

進級制作「for DEAR」

卒業生だより

◉ビジュアルデザイン科　2011年度卒業　村田 慧太朗

株式会社 ボラーレ

仕事内容を教えて下さい

「漫画本の装丁やレイアウト、ロゴなどをデザインしています。レイアウトデザインは、上がってきたラフ案を形にしていく場合もあるし、ゼロから自分で考えて制作していくこともあります」

やりがいを感じるのはどんな時ですか？

「漫画や雑誌の仕事は、制作から書店に並ぶまでのペースがとても速いです。書店で自分が手がけた本を見つけると、嬉しくてついガッツポーズをしてしまいますね。こっそりですが…」

仕事をする上で、大切にしていることは何ですか?

「うちの会社での仕事は、とにかくスピードを求められます。また、お客様に手に取ってもらえないと意味がないので、読みやすく分かりやすいものを意識して制作しています。一方、上司からは「もっとデザインで遊んでもいいぞ」と言われたりもして、今はその加減をつかもうとしています。漫画を読むのも仕事の一つで、見方が変わってきましたね」

大変だと思うことはありますか?

「漫画家さんや編集者さんの原案が届いてから作業に入るので、仕事にとりかかるのが深夜からになることもあります。それに制作期間がやたらに短かったり、複数の仕事を同時進行でやることも…。でも「こういう業界なんだ！」と覚悟をして入社したので、すぐに慣れました」

◉スペースデザイン科　2008年度卒業　久山 千鶴子

（旧インテリアデザイン科）

株式会社 大昌

仕事内容を教えて下さい

「店舗の企画・設計・施工などを行う会社で、デザイナーとして働いています。お客様と打ち合わせをして、デザインの提案をしていくことがメインの仕事です。小さい会社なので、見積もり計算などの事務や、現場へ出向いたり、職人さんのお手伝いなどをすることもあります」

やりがいを感じるのはどんな時ですか？

「自分が提案したデザインを、お客様に「いいね！」と気に入っていただけた時は、すごくやりがいを感じます。末永く使っていただけるデザインを心がけたいと思っています」

大変だと思うことはありますか？

「提出期日が迫っているのに、なかなかアイデアが浮かばない時…かな。あえて部屋にこもってみたり、気分転換に散歩をしたり本屋へ行ったり、いつもいろいろ試しています。丸一日かけてやっとひらめいたアイデアを、夜中までかかって仕上げることもあります。でもそんなふうに苦労して生み出した提案が採用されると、心からほっとするし、次の仕事へのステップにつながりますね」

仕事をする上で、大切にしていることは何ですか？

「お客様や職人さん、それに職場の人達とのコミュニケーションをたくさんとること、いい仕事をするためには、意思の疎通が欠かせないと日々感じています」

◉ジュエリーデザイン科　2012年度卒業　小野 早由里・齋藤　麻衣

株式会社 イデア・プロダクツ

仕事内容を教えて下さい

「**（小野）**ブライダルやファッションジュエリーの石留めの後に仕上げの磨き・検品をするので、できるだけその後の工程がスムーズにいくよう、担当の人と確認し合いながら作業しています。

（齋藤）ブランドやブライダルジュエリーの研磨をしています。まずは石を留める前に磨き、留まってからも再び磨きます。石が留まったジュエリーは何となく愛おしくて、磨きにもいっそう力が入りますね」

やりがいを感じるのはどんな時ですか？

「**（小野・齋藤）**百貨店や展示会で自分たちが手がけた製品を見ると「どんな方が身に付けるのかな？」と思い、ワクワクしてしまいます。あとは実際に購入してくれたお客様を見た時に、人の手に届いていることを実感し、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました」

逆に大変だと思うことはありますか？

「**（小野）**最初の頃はジュエリーの品質基準を叩き込まれましたね。それと、いかに短時間で品質の高い製品を作るか、ペースをつかむか結構苦労しました」

学院ニュース

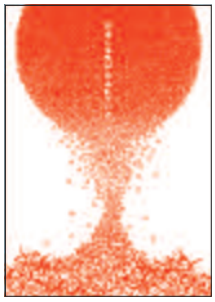
第14回デザイングランプリTOHOKU 2013

「デザイングランプリTOHOKU」は、プロのデザイナーとプロを目指している学生を対象に、グラフィックデザインの作品コンペを通して、互いのデザインの向上を目的とするものです。同時に、将来性のあるデザイナー育成の登竜門として、印刷産業界とデザイン関係業界の活性化を支援します。

本コンテストの学生部門に、ビジュアルデザイン科の学生が応募をしました。学生部門応募総数251点の審査の結果、各賞に入賞しました（2年次）。

《奨励賞》藤岡　真央

《期待賞》藤野　優希



《東北地区印刷協議会会長賞》丹波　礼奈

《東北地区印刷協議会会長賞》中村　衣里

第2回 東京装画賞2013

東京装画賞は日本図書設計家協会が主催する、ブックジャケット・イラストレーションコンペティション（山脇ギャラリー企画展）です。イラストレーションは、ブックジャケットにおいてビジュアルコミュニケーションを達成する重要な表現です。

また、本の内容を説明するだけでなく、書名等の文字、紙や印刷といった素材や技術とともに、そのイメージや言葉にならないメッセージを伝える、大切な役割を担っています。今後その活躍の場は、電子ブックなど、ますます広がりをみせるでしょう。「東京装画賞」はブックジャケットの「力」と「美」を信じ、本の世界をさらに魅力的なものにしていきたいと考えています。

1200点を超える応募作品中から、学生部門に、ビジュアルデザイン科の学生が入選しました（2年次）。

《学生部門入選》藤野　優希

《学生部門入選》山内　優斗

☆山脇ギャラリーにて展示されました☆

第3回 YAMATOイラストレーションデザインコンペ

若者の発表活動をサポートするとともに、大和市（神奈川県）をイラストあふれるまちに変えていくことを目的に、毎年実施されているもの。今回のテーマは「森」大和市とドラマティックカンパニーYamato50の共催。

応募総数443点の作品の中から、45点の入選作品が選ばれ、ビジュアルデザイン科学生の作品が入選しました（2年次）。

《入選》中島　恵玲

《入選》池沢　百奈美

NEWS

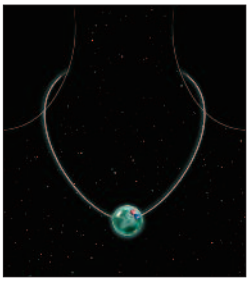
第7回 糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト

コンテストのテーマは「出逢いの奇跡」184点の応募の中から3名が受賞しました。

【準グランプリ】
ジュエリーデザイン科2年次　丸杉　絢子

【糸魚川ヒスイ商組合賞】
ジュエリーデザイン科3年次　櫻田　茜

【審査員特別賞】
ジュエリーデザイン科2年次　鈴木　絵里香



「ボーイ・ミーツ・ガール」
丸杉　絢子

NEWS

第3回 日本ジュエリーデザインコンペティション

日本ジュエリーデザイナー協会主催のデザイン画コンテスト。今回のテーマは「快感」。

応募総数121点からグランプリ、準グランプリ3名、クリエイティブ賞1名、奨励賞3名が選ばれました。更に他8名が入選しました。

【グランプリ】
ジュエリーデザイン科1年次
柳生　乃亜

【準グランプリ】3名

ジュエリーデザイン科2年次
丸杉　絢子

ジュエリーデザイン科1年次
北澤　幸脩

ジュエリーデザイン科1年次
刘　立立

NEWS

2014日本ジュエリーアート展

日本ジュエリーデザイナー協会主催のコンテスト。応募総数692点。一般部門に櫻庭愛さんが2点応募し、それぞれ奨励賞と入選となりました。またunder26部門では10名が入選しました。

「Toy Jewelry "TE-ASOBI"」

【一般部門 奨励賞】
【一般部門 入選】
ジュエリーデザイン科3年次　櫻庭　愛

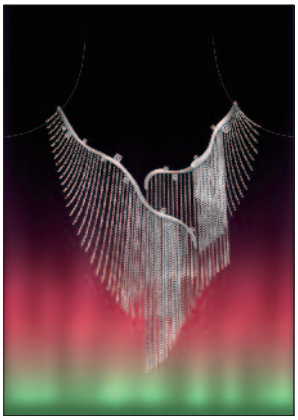
NEWS

第54回 東日本伝統工芸展

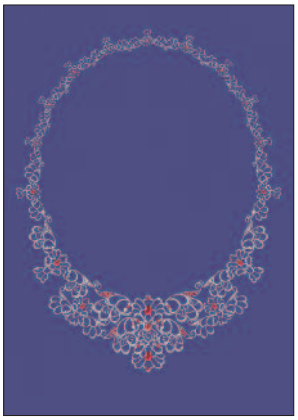
【奨励賞】
ジュエリーデザイン科3年次
櫻庭　愛

NEWS

第11回 JTO ジュエリーデザインコンテスト



【台東区長賞】
ジュエリーデザイン科2年次
髙橋　千明



【特別賞】
ジュエリーデザイン科2年次
福田　志穂

山脇美術専門学院ジュエリーデザイン科
メンバーズサイト
http://www.yamawaki-jewelry.com

研修旅行

ポーラ美術館

平成26年5月22、23日の2日間で3科合同の研修旅行に行ってきました。今年は神奈川県の箱根と、静岡県の伊豆、三島方面へのバス旅行で、各科に特化したコースを見学してきました。

「吹きガラス」や「電動ろくろ」の体験実習、美術館等を見学していく中で、学生達はデザインや物作りに結びつけながらたくさんのことを学んでいました。

体験実習では、普段学校で行うことのできない貴重な経験に顔を輝かせて取り組んでおり、それぞれ満足のいく作品が出来上がったようでした。

美術館の見学では皆熱心にメモやスケッチをとり、真剣な眼差しで作品を観る姿が印象的で、学芸員の方の貴重なお話も興味津々な様子で聞いていました。

一日目の夕食後は恒例のレクリエーションです。学生が主体で企画し、今年はボーリング大会でした。全学生と教員が参加することで科や学年を超えた交流を行い、笑顔の絶えない盛り上がりをみせました。

今回の研修旅行では各科の垣根を超えた交流があり、お互いを刺激し合いながら楽しく過ごす学生の姿がとても印象的で、9月に控えた山脇祭にも良い流れができたのではと思います。

▼ビジュアルデザイン科助手　角田　尚美　記

箱根ラリック美術館

電動ろくろ

吹きガラス

夕食

ボーリング大会

千草会　平成25年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させて頂きます。

	前年度繰越分 ……	**¥4,622,716**
収入	千草会費 ……	¥1,080,000
	利息 ……	¥815
	計 ……	**¥1,080,815**
支出	千草会会報　発行費 …	¥734,310
	年賀状 ……	¥8,086
	千草会賞 ……	¥39,117
	運営費 ……	¥173,793
	文具その他 ……	¥21,509
	計 ……	**¥976,815**
	次年度繰越金 ……	**¥4,726,716**

※平成24年度会計報告において、手持現金¥57,903－の計上漏れがありました。

【前年度繰越金分】
（正）¥4,254,444－
（誤）¥4,196,541－

【次年度繰越金】
（正）¥4,622,716－
（誤）¥4,564,813－

お詫びして訂正させて頂きます。

『山脇子女奨学金のご案内』

ご親族が山脇に進学される場合、入学金の一部（5万円）を免除する「山脇子女奨学金」(他の奨学金との併用可)がございます。

※その他「特待生奨学金」（1年次の授業料全額免除）、推薦奨学金（1年次の授業料から31～10万円を免除）などございます。ご親族にデザイン分野への進学を希望される方がおられましたら、山脇を是非ご紹介ください。

就職について

3年制導入後、初の卒業生就職実績については学院長のご挨拶文中にあるとおりです。いろいろ評価はあると思いますが、初年度はまずまずのスタートかと思われます。卒業生の皆様のご活躍、応援、そして教職員一致協力しての学生サポートの賜物と、厚く御礼申し上げます。

26年度は5月27日に内定第1号が誕生しました。本誌がお手元へ届くころには、さらに内定者が増えていることと思います。

就職担当としては、なるべく早く内定を決め、学院生活残りの大事な時間を卒業制作に思う存分使ってもらいたいと願っています。

本年もコミュニケーション、ビジネスマナーなど人間力の向上に努めてまいります。今後とも、ご支援をお願い申し上げます。

ビジュアルデザイン科　40名

グラフィックデザインとWebデザインの両方を主軸に「仕事に直結する授業」を行っています。イラストレーションや動画などの派生講座も充実。「発想力・企画力・コミュニケーション力を鍛える」課題も多数あり、時代のニーズに対応できるスキルが身に付きます。ビジュアルデザイン科の3年間には、デザインセンスや感性も磨ける、多角的な授業が詰まっています。

学院は平成26年11月に創立85年を迎えます。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございますので、今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

建学の理念の「真・善・美」に基づいた専門性と人間力を養う教育で一人ひとりの可能性を引出します

「個々を大切にする教育」
1クラス15～20名の個別サポート

「3年制のデザイン専門学校」
就職に直結したカリキュラム

「最高の学習環境」
一人ひとりに専用の作業机、ノートパソコン支給

「コンペ実績」
毎年、多数のコンペに入賞実績

「充実した就職サポート」
サポートプログラムが充実、就職率100%を目指します

スペースデザイン科　18名

住宅から、レストラン、ブティックなどの商業施設、快適に暮らすために必要な家具や照明などのインテリアエレメントまで幅広く学び、それぞれのニーズに最適な空間をデザインするスキルを身に付けます。実務に不可欠な構造、構法、材料、設備、法律、施行等の知識も必修科目で学び、卒業と同時に二級建築士の受験が可能です。在学中に商業施設士補、商業施設士の資格取得を目指します。

ジュエリーデザイン科　15名

ジュエリー制作の基礎技術から本格宝飾造形技術まで一貫したカリキュラムで学びます。段階を追って多くの制作課題をこなすことで、初心者でも確かな技術を身につけることができます。平成25年度は就職率100%を達成し、学外のコンペティションでは84個の入賞・入選という成果を得る事ができました。

「手から手へ」技術を伝える距離感を大切にし、様々な技法・表現力を積み上げていく教育で、付加価値の高い技術とデザインセンスを併せ持つハイレベルなクリエイターを目指します。

※平成27年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ　アドレス　**http://yamawaki.ac.jp/**　山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

お知らせ

イベント開催のご案内　（仮称）山脇『未来へ繋がる輪の集い』

この度、創立85周年の節目にあたり、同窓生・教職員さらに在校生が一同に集い、相互の旧交を温め交流を楽しんでいただいて、より一層の繋がりを図るための行事として開催する運びとなりました。

要項

＊日　時　平成26年11月１日（土）　午前11時から
＊場　所　ホテルオークラ東京（別館地下２階　アスコットホール）
＊会　費　無料
＊内　容　第１部　トークショー「皆様よくご存じの方がゲスト出演（予定）」
　　第２部　懇親パーティー「人気お笑い芸人の方がゲスト出演（予定）」
＊その他　☆当日は、ホテル内に託児所をご用意しております。
　　☆その他詳細につきましては、後日、改めてご案内を差し上げますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。
＊主　催　学校法人山脇服飾美術学院　　＊共催　山脇美術専門学院　同窓会

山脇祭

【開　期】平成26年９月６日（土）・７日（日）10:00～17:00
【テーマ】『宇宙旅行～未知との遭遇』
【コメント】今年の山脇祭は山脇の学生たちが力を合わせ、学校内に『宇宙』を創り上げます。飲食やオリジナルグッズはもちろん、来場者が参加できるイベントもあります。学生作品展示や、ジュエリーショーも見所です。山脇でしか体験できない宇宙旅行に皆さんも参加しませんか？

第44回専門学校美術展

【開　期】平成27年２月22日（日）～28日（土）9:30～17:30（初日は14:00会場・最終日は14:00閉館）
【開催場所】東京都美術館（ロビー階、第1・2展示室）
【コメント】都内のデザイン・アート系専門学校12校が参加。今年も山脇の学生は素晴らしい作品を大きな舞台で発表します。また、それぞれの学校のカラーが反映されている作品を一緒に見ることができる見応えある美術展です。皆様のご来場を心よりお待ちしています。

卒業・進級制作展

【開　期】平成27年3月4日(水)～8日(日)11:00～19:00(最終日は17:00迄)
【開催場所】山脇ギャラリー
【コメント】一年間、一生懸命頑張った集大成の作品を展示します。1・2年生は進級制作、3年生は卒業制作です。学生たちの力のこもった作品に、アドバイスを頂ければと思います。会場は山脇ギャラリーを使用して5日間開催されます。

山脇ギャラリーより《卒業生の展示案内》

◉野村よしの・国見仁美　油絵展　11月19日（水）～11月26日（水）

☆日曜・祝日は休館です。☆通常の会館時間は11:00～18:00ですが、展示初日と最終日は時間が異なる場合がありますので、お問い合わせ下さい。山脇ギャラリー TEL 03-3264-4027
☆制作活動をされている方で作品発表の場所をお探しの際は、『山脇ギャラリー』をご利用されてはいかがでしょう。会員の方の申込みをお待ちしています。

講師・教職員異動報告

▼退職された先生
ビジュアルデザイン科他　神山美奈子　先生

▼就任された先生
ジュエリーデザイン科　田村　晴子　先生

▼就任された教職員
ビジュアルデザイン科　角田　尚美　助手
ビジュアルデザイン科　大島佐和子　助手
ジュエリーデザイン科　杉山　千尋　助手
学務課　秋山　裕宏

千草会役員

会長　片桐　清子　洋裁師範科卒
副会長　芦沢　梓　デザイナー科卒
副会長　百田富美子　コスチュームデザイン科卒
学内代表幹事　福澤　清子　スペースデザイン科助手
幹事　小林　萌　ビジュアルデザイン科卒
　　臼井　宏人　スペースデザイン科卒
　　大島　彩瑛　ジュエリーデザイン科卒
学内委員　篠原　一郎　専任
　　桐井　英明　専任
　　佐藤　未来　ビジュアルデザイン科助手
　　遠藤裕喜奈　ビジュアルデザイン科助手
　　角田　尚美　ビジュアルデザイン科助手
　　大島佐和子　ビジュアルデザイン科助手
　　木村　晶代　ジュエリーデザイン科助手
　　杉山　千尋　ジュエリーデザイン科助手

千草会　会報　平成26年8月　第53号
発行　山脇美術専門学院　同窓会
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-21
電話　03-3264-4020
（学院窓口）